



令和6年度 施策評価シート

施策の大綱	2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	評価担当者
基本施策	(1) 健康づくりの推進と地域医療の充実	健康福祉部長 林 秀臣
目指す姿	市民一人ひとりが、生き生きと健康に暮らしています。	
関連する分野別計画	亀山市健康まちづくり計画	

■SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	 
SDGs推進の考察	健康都市連合日本支部の支部長市として、総会・大会や新たに設置した政策連携検討部会での活動や、アプリdeウェルネス推進事業において商品連携を通じ、加盟自治体等との連携を深めた。また、かめやま健康都市大学をはじめとした市の事業に包括連携協定の締結事業者やセルフケアアワード協議会などの参画を得ることで、パートナーシップの強化を図った。こうした取り組みを通じて、市民の健康づくりにつなげた。

■関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段:予算額	実績・成果等
		下段:決算額	
①	健康都市大学創設・運営事業	3,951	かめやま健康都市大学第二期を運営し、受講生をはじめとする市民に主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図ることができた。また、79名が健康都市サポーターとして登録し、個人活動の支援を行うとともに、テーマ種別毎のワーキンググループを設置し、地域の健康活動の拡大に向けた取り組みの準備ができた。
		3,576	
①	アプリdeウェルネス推進事業	4,500	健康マイレージアプリの活用により、市民の健康意識が向上し、主体的な健康習慣づくりを促すことができた。また、他部署のイベントでアプリポイントを付与し、事業間の周知と集客に効果があった。
		3,991	
③	がん検診推進事業	82,928	インターネット予約を導入するとともに、検診日を休日を設定するなど、受診しやすい環境の整備を行ったことにより、集団検診の受診率向上につなげた。
		81,255	
③	特定健康診査・特定保健指導事業	25,923	生活習慣病予防や重症化予防につなげるため、市民が利用しやすい特定健康診査や特定保健指導の環境を整え、受診率や利用率の向上を図った。
		24,323	
③	がん患者支援事業	943	がん治療にまつわる助成金の交付を行い、治療を続けながら社会生活を送る人への支援を行った。また、助成金制度の周知を行ったことにより、制度の認知度向上と利用促進につなげることができた。
		424	
④	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	21,200	寄附講座設置協定に基づいて三重大学への寄付を行い、市立医療センターにおける常勤医師を確保した。
		21,200	
④	滋賀医科大学スポーツ・運動器科学共同研究講座支援事業	25,100	共同研究講座設置協定に基づき、整形外科常勤医師を配置したことにより、地域医療体制の強化を図ることができ、患者への医療サービスが充実し、質の高い医療を受けられる環境が整った。
		25,085	
⑤	予防接種費用助成事業	12,991	接種費用の助成によって経済的な負担が軽減され、より多くの人が予防接種を受けやすくなったことで、公衆衛生の向上が図られた。また、周知啓発により、市民の予防接種への理解が深まり、健康保持・増進や感染症の予防につながった。
		11,974	
⑥	病院総合情報システム更新事業	21,204	病院総合情報システム保守業務委託により、安定的な稼働と医療事務の円滑化が図れ、患者サービスの向上につなげることができた。
		21,203	
⑥	高度医療機器更新事業	140,000	新しい機器に更新したことで機能強化が図れ、安定的な医療の提供と患者サービスの向上に寄与した。
		100,430	
①	保健衛生一般事業	986	健康都市連合日本支部大会へ市民の方々々と参加することで、健康都市の考え方の浸透を図るとともに、他自治体の好事例を見ることで、自身の今後の健康活動へ好影響を与えた。
		980	
③	高齢者人間ドック・脳ドック事業	3,215	人間ドック30人(定員30人)、脳ドック100人(定員100人)の受診があり、後期高齢者被保険者の疾病の早期発見や健康管理に寄与し、医療費の適正化に努めた。
		3,131	
③	健康増進事業	9,254	検診事業を実施し、歯周病検診453人、肝炎ウイルス検診450人、骨粗しょう症検診425人が受診し、疾病の早期発見につなげることができた。
		8,071	
③	特定健康診査事業	35,775	特定健康診査:11月までの実施を、市内での受診期間を1月末まで延長した。2,390人の受診があった。(令和6年5月時点)特定保健指導の未利用者へ個別通知を行い利用につなげた。
		31,895	
④	救急医療対策費	9,913	一次救急医療体制事業及び年末年始歯科在宅医制医療対策事業の契約を締結し、安定的な一次救急体制を確保することができた。
		9,820	
⑤	予防衛生事業	66,097	新型コロナウイルス感染症については令和6年度より定期接種が開始となったため、広報等を通して市民に周知をしたうえで、予防接種を実施し、地域での感染症の予防や個人の重症化予防につなげることができた。
		58,867	

太字:主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1 健康マイレージの延べ参加者数	人	908	R2	977	1,123	1,555		4,000
2 特定健康診査の受診率	%	34.7	R2	40.4 (確定値)	42.3 (確定値)	42.8 (速報値)		65.0
3 がん検診の受診率(胃がん)	%	28.8	R2	25.2	25.9	25.0		30.5
4 がん検診の受診率(肺がん)	%	25.0	R2	24.9	26.2	26.9		27.0
5 がん検診の受診率(大腸がん)	%	23.7	R2	26.5	26.8	27.2		25.5
6 医業収支比率	%	86.8	R2	84.59	90.38	87.9		99.8
7 国民健康保険事業における被保険者1人当たりの医療費	円	398,389	R2	457,063	472,900	457,254		396,000
8 後期高齢者医療事業における被保険者1人当たりの医療費	円	779,330	R2	735,136	761,414	730,198		725,000

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.27	1.42	1.29	2項目ともに、重要度は前回よりも低下しているものの、いずれも高水準で維持している。健康教室や各種検診については、満足度も概ね高い水準となっている一方、医療機関の充実については満足度は低くなっている。
	満足度	0.42	0.55	0.46	
2 医療機関が充実している	重要度	1.54	1.61	1.58	
	満足度	▲ 0.39	▲ 0.17	▲ 0.32	
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 「健康都市」の推進	健康都市大学を通じた市民のヘルスリテラシー向上、健都サポーターの育成、アプリdeウェルネス推進事業による主体的な健康活動の実践により、健康都市の推進を図った。
② 健康な暮らしの支援	歯と口腔の健康づくりのため、歯周病検診を実施するとともに、正しい食生活の普及啓発のため、かめやま健康レシピを健都サポーターと食生活改善推進員とともに作成した。
③ 疾病予防と重症化予防の推進	健康づくりのてびき等による健診啓発を図りながら、集団検診についてはすべての健診についてインターネットを活用した受診申込を実施した。
④ 地域医療体制の強化	三重大学地域医療学講座、滋賀医科大学との共同研究講座を継続し、市立医療センターの医師確保を行った。また、ICTを効果的に運用し医療・介護の多職種連携強化を図った。
⑤ 感染症対策の推進	新型コロナウイルスや带状疱疹ワクチン定期接種の実施に向け、医師会と連携して接種体制を構築し、地域での感染症の流行予防や個人の重症化予防に努めた。
⑥ 医療センターの機能強化と経営健全化	常勤の整形外科医師の配置等による診療体制の充実や、MRI装置、CTスキャナー等の医療機器更新による機能強化を図り、安定的な医療の提供と経営健全化に努めた。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(国民健康保険事業)	標準保険料率に則した令和7年度国民健康保険料の税率改正を行い、市民課・税務課との連携による収納率の向上や医療費の適正化を図るなど、国民健康保険事業の安定的かつ健全な運営に向けて取り組んだ。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(後期高齢者医療事業)	保険料収納率の向上に向け取り組むとともに、高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施事業を広域連合から受託し、健康寿命の延伸を図るためフレイル予防の普及啓発を行い医療費の適正化に取り組んだ。

総合評価

「健康都市」の推進及び健康な暮らしの支援については、健康ポータルサイト「かめやま健康なび」を中心とした広報、SNSの連携した情報発信に取り組みつつ、健康マイレージアプリについても概ね順調に利用者が増加している。また、かめやま健康都市大学については、定員以上の利用が得られ、修了生が登録する健都サポーターについてもサポーター会議やワーキンググループでの検討により、地域への活動展開の準備を進め、市民の主体的な健康づくり活動の促進につなげた。「疾病予防と重症化予防の推進」については、がん検診受診促進のためナッジ理論を用いた受診勧奨やがん検診でのインターネット予約を実施するなど受診しやすい環境づくりに取り組んだものの、受診率は伸び悩んでいる。「地域医療体制の強化」及び「医療センターの機能強化と経営健全化」については、三重大学との寄附講座及び、滋賀医科大学との共同研究講座等により、市立医療センターの診療体制の確保と経営健全化につなげた。「感染症対策の推進」については、新型コロナウイルス感染症の定期接種化への対応を図りつつ、亀山医師会と連携した定期接種や任意接種費用助成により、地域内感染の拡大抑制に努めた。「安心できる公的医療保険制度の運営」については、国民健康保険事業において、特定健康診査の受診率は上向き傾向ではあるが、目標値の65%に對して43%に留まっている。国民健康保険料については税務課との連携により過年度分を含めた全体収納率は上昇したものの、目標とすべき県の示す徴収率には至っていない。また令和11年度に向けた標準税率への統一を見据えて、税率改正を行った。後期高齢者医療事業においては、三重県後期高齢者医療広域連合との連携協力により、収納率の向上を図りつつ、糖尿病性腎症重症化予防に取り組んだ。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

かめやま健康都市大学については、創設期の最終年度を迎えるため、令和8年度からの発展期に向けた検討を進めるとともに、健都サポーターを核とした地域等への健康活動の促進への取り組みを強化する。また、アプリdeウェルネス推進事業については、アプリの更新準備を進めるとともに、アクティブユーザーの増加に向けた対策を進める。また、国や県の策定した行動計画を踏まえ、新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを進めるとともに、市立医療センターの地域医療体制の中核機能の強化に向けて、大学との更なる連携についての検討を進める。国民健康保険事業については、特定健康診査の受診率の向上に向けた課題分析と取り組みを強化し医療費適正化に努める。国民健康保険料については、被保険者数や徴収率等に注視しながら税率改正を含め、財源確保を図る。後期高齢者医療事業については、新たに税務課との連携による保険料の収納率の向上に努めるとともに、引き続き、糖尿病性腎症重症化予防等、生活習慣病の予防に努める。